行政視察報告書　　議会運営委員会　　　2016年8月4日(木)

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　11番　石井通春

|  |  |
| --- | --- |
| 視察先 | 大阪府枚方市 |
| 研修テーマ（調査項目） | 通年議会をはじめとした議会改革について |
| 1. 調査内容をどう評価するか

・議会側から招集できる通年議会の取組は、専決処分の乱用の防止や、議員発議の充実など。今後、本市議会が研究を重ねるべきテーマである。1. 今後の課題

・一時不再議については、別途規定を取り入れながら、ある程度目途を作る必要がある（原則、定例会としていた）・会議の種類を決める必要があるのか。「開会議会（5月臨時議会）」「緊急議会（必要に応じて行う）」「定例月議会（定例会）」としていたが。1. 本市に反映できると思われる点

・国における地方税法改正など、年度末ギリギリの国会決定が翌年度の地方財政行政に大きな影響があるケースに、議会が開けないなど。通年議会によって解決できることが具体的に見いだせる。・議会基本条例中に明確に位置付ける事で、ただやみくもに開くことが出来るものとせずに、上記のようなケースを議論して導入へと進めていくべきであると考える。※枚方市議会基本条例では「議会の会期を通年とする事に関し、必要な事項は別に定める」とし、平成27年5月1日からの施行で、今後課題検証をするとされている。1. その他

・陳情を文書配布のみにしている点は、間違った対応をしていると感じた（議会運営委員会で審査すべき）・本市とほぼ同様の予算、決算委員会の運営（事業実績測定調書など）の取組は、合理的である。議案は分割できないとの原則。 |